

内視鏡検査時に鎮静剤の投与を希望される患者さんへ

このたび患者さんのご希望により内視鏡検査時に鎮静剤の投与を行います。鎮静剤を投与すれば検査時に少し眠たいような状態となり内視鏡検査が楽に受けられます。ただし全身麻酔のように完全に眠った状態になることはありません。

鎮静剤の効果は人によって異なりますが半日ぐらい眠気やふらふら感が続くことがありますので検査当日は車、バイク、自転車を運転しないで下さい。

合併症：鎮静剤の投与により合併症が起こることがあります。合併症には注射部の炎症および筋障害、静脈炎、血圧低下、ショック、呼吸抑制、呼吸停止などがあります。日本消化器内視鏡学会の報告では通常の前処置に比し約7倍の合併症の危険性があると報告されています。日本消化器内視鏡学会の全国集計では合併症による死亡率は0.00013%（約80万人に1人）でした。また穿孔などの内視鏡検査の合併症が増加することも報告されています。

上記鎮静剤の投与にあたっては最善を尽くすことを約束します。万一合併症が発生したときも最善の処置をいたします。

上記事項でご不明な点やご質問がありましたら遠慮なくお尋ねください。

同意書

以上のような鎮静剤の効果、注意事項および合併症について十分理解できましたので鎮静剤の投与を受けることを希望します。なお、検査中に緊急の処置を行う必要性が生じた場合には、適宜処置されることに同意します。

本日は車、バイク、自転車の運転は行いません。

西暦 年 月 日

患者氏名 : _____

代理人氏名 : _____ (続柄 : _____)